令和8年度 4月～9月
活動報告会

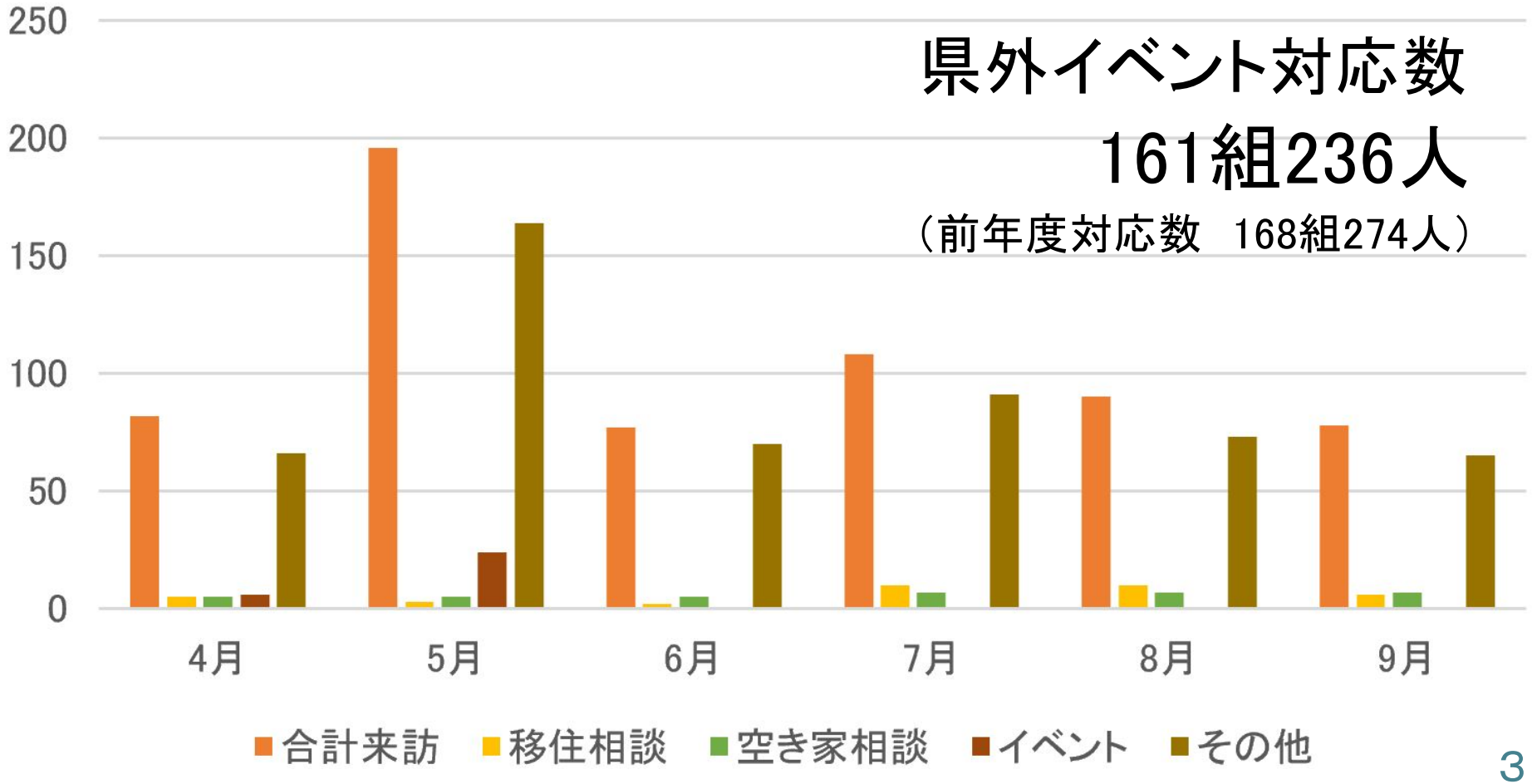
下諏訪町地域おこし協力隊 移住定住チーム
三地澤 陽香 / 福田 征志

目次

1. 移住交流スペース mee mee center Sumeba
   実績報告 ……3～4ｐ
2. 空き家に関する活動報告 ……5～6ｐ
3. SNSの実績 ……7ｐ
4. 町内での活動 / 町外での活動 ……8～11ｐ
5. 今後のイベント ……12ｐ
6. 成果・課題・今後の活動について ……13～14ｐ

来場者数　631人

（前年比50.52%）



県外イベント対応数

161組236人

（前年度対応数　168組274人）

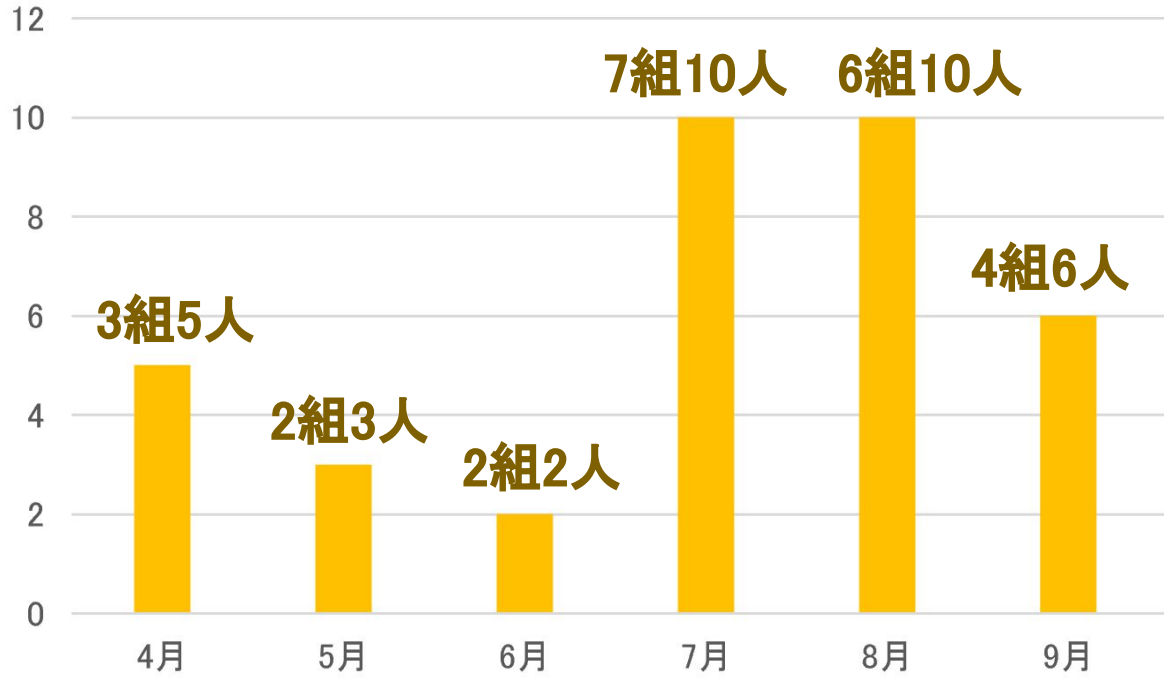
mee mee center Sumeba 実績報告（R8年度4月～9月）

移住相談

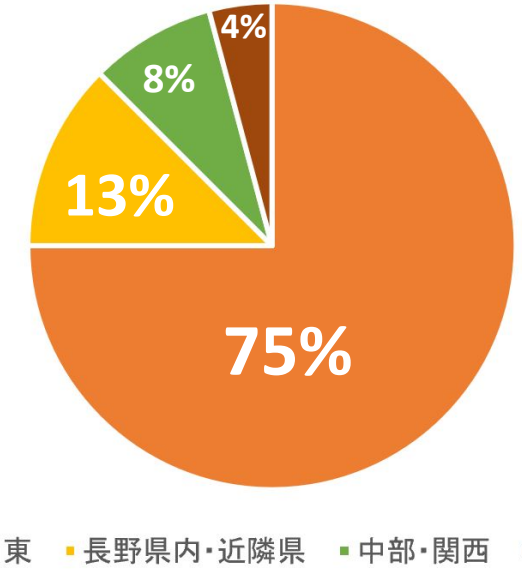
合計 **24組36人**

（前年比72%）

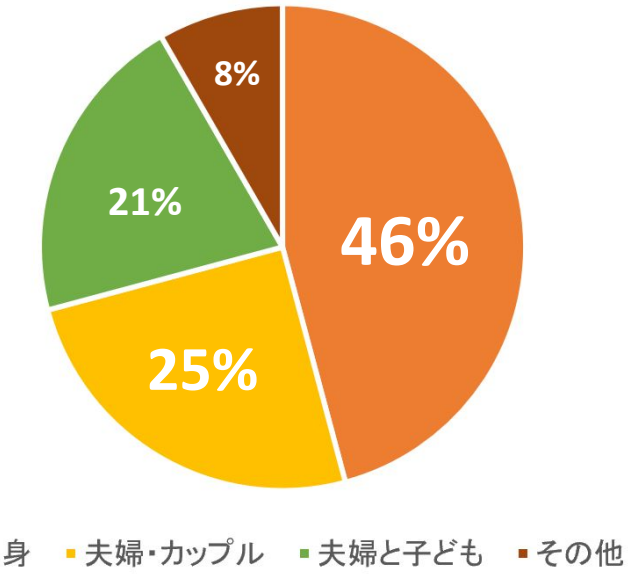
移住につながった方は1名



現在の居住地



家族構成



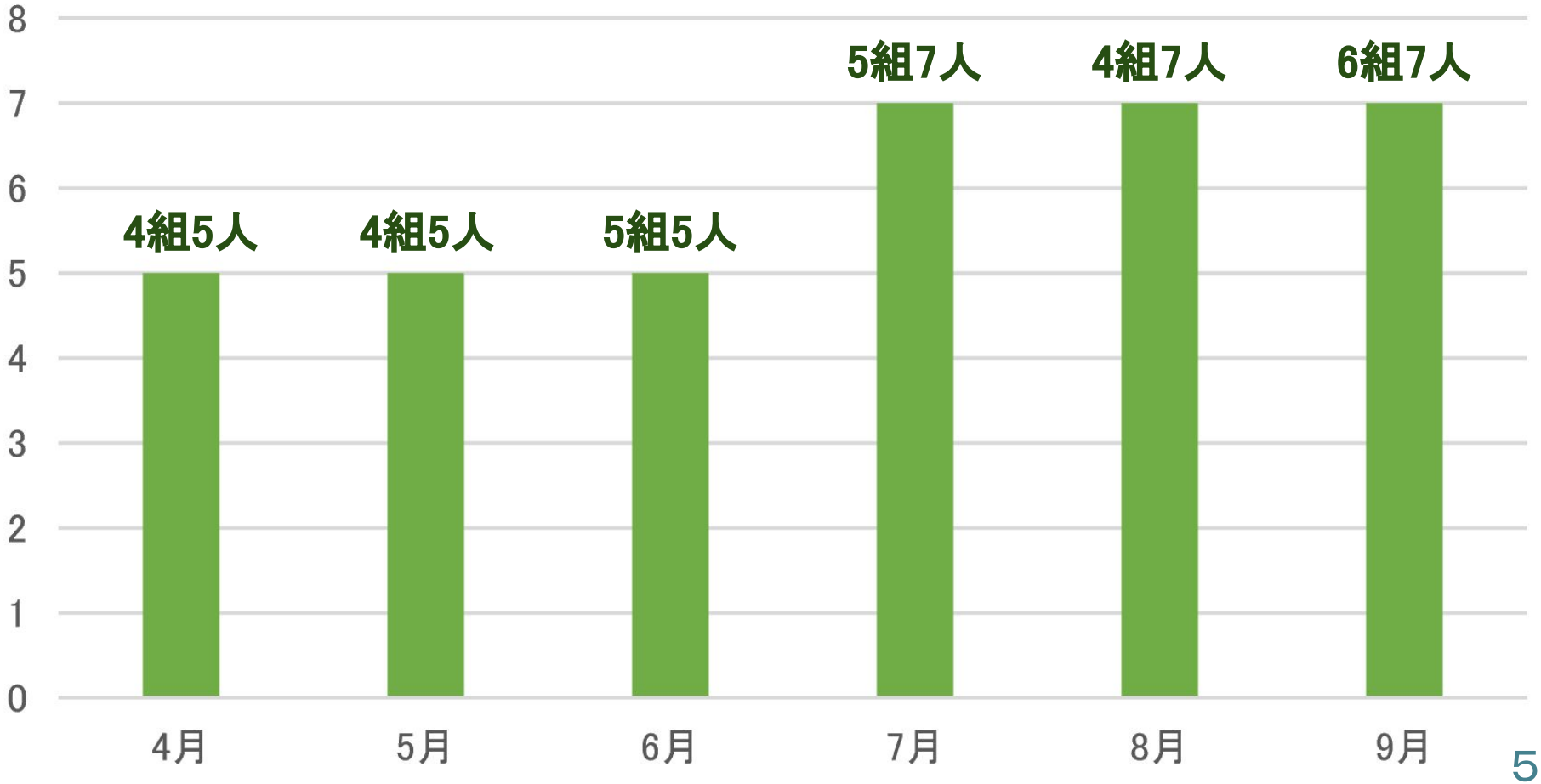
mee mee center Sumeba 実績報告（R8年度4月～9月）

空き家相談

合計 **28組36人**

（前年比72%）

空き家情報バンクの登録につながった方は1名



空き家見学会・相談会

＼ 第4土曜日は空き家の日／

実績　3組　5人

空き家相談会vol.38～43







空き家の売却・賃貸、管理、処分、予防など、空き家に関する困りごとの相談会
相談するきっかけにしてもらうため、定期的に開催しSNS等で発信

SNSの実績

投稿数　**34 本**

閲覧数

Facebook

20.5 万回

Instagram

81.0 万回

フォロワー数

Facebook

+174 人

Instagram

+249 人





町内の活動

5/12

プロジェクションマッピング デモ

エプソン様からの声掛けを受け、諏訪大社の夏詣に先立つプレ企画として、スメバを会場として提供。万治の石仏を模したモニュメントへの映像投影やDJの出演などが行われ、地域の方々がスメバに足を運ぶ機会となった。



5/26

万治の石仏 田植え

観光係とともに、地域おこし協力隊2名で万治の田植えに参加し、田植え作業を通じて地域の伝統行事に関わる。



6/18

博物館学芸員と高木町歩き

諏訪湖博物館・赤彦記念館の太田主査に高木地区を案内いただき、地域の歴史や文化について学ぶ。見学内容をショート動画にまとめ、SNSで発信した。

7/9

富士見町移住担当視察・意見交換

富士見町の移住担当職員・協力隊と、移住定住や空き家活用、イベント等について相互に説明・意見交換を実施。空き家流通の仕組みや課題の違いから学びを得た。



7/31

宵祭り

宵祭りの開催に向けた会場設営や準備に参加し、地域行事の運営を支援。

町内の活動

8月

ふるさとCM大賞2026 CM撮影

下諏訪町で暮らす若者の贅沢な一日をテーマに、町内事業者の協力のもと企画・撮影・編集を行った。



8月

おいでや今昔館で写真展を開催

路地をテーマに、移住者3名と町内のカメラマンが撮影した写真を展示。芳名帳の記載は28名で、記載率を約15%と仮定すると、来場者は約180名と推定される。



8月

真綿ワークショップ・土蔵調査ワークショップ

御田町文化研究会が実施する真綿ワークショップや土蔵調査ワークショップに参加し、地域の文化や歴史的建造物への理解を深める。

9/6

下諏訪町民レガッタ大会

産業振興課チームとして町民レガッタ大会に参加し、競技を通じて地域住民との交流を図る。結果は惜しくも準決勝3位で敗退。



9/13–15

旧矢﨑商店 見学会

工事前最後の一般公開見学会を企画・開催。最新の研究成果を踏まえて建物の歴史や価値を紹介し、県内外から3日間で計223名が来場。

町外の活動

6/12

諏訪圏空き家担当交流会

諏訪市内の空き家や協力隊による改修物件を視察し、各市町村の担当者と空き家の流通・活用に関する情報交換を実施。



6/19

ふるさと住民登録制度セミナー（長野県庁）

県内自治体職員や協力隊と、ふるさと住民登録制度を活用した関係人口づくりについてワークショップを実施。対象者像や具体的な施策を検討し、今後の取り組みへの理解を深めた。



6/21

諏訪6市町村合同セミナー（東京）

移住経験者によるトークや座談会、仕事・住まいに関するセミナーを実施。イベント全体で 28組42名 が参加し、下諏訪町ブースでは 2組3名 の個別相談に対応。

7/4

移住フェア2026＆地域おこし協力隊フェア（東京）

協力隊エリアに出展し、移住や協力隊への応募を検討する来場者に町の魅力や募集情報を紹介。下諏訪町ブースでは 24組31名 の相談に対応し、今後の町の取り組みで活躍が期待される人材との接点を得た。



7/12

信州暮らす働くフェア（東京）

移住相談ブースに出展。会場全体で 550組865名 が来場し、下諏訪町ブースでは 21組23名 の相談に対応。仕事や賃貸住宅の選択肢など、移住に向けた課題を把握した。

町外の活動

7/18

おいでや‼いなか暮らし移住フェア（大阪）

諏訪湖・八ヶ岳エリアとして合同出展。地域の暮らしや住宅事情を紹介し、下諏訪町ブースでは 15組26名 の移住相談に対応。関西圏の移住希望者のニーズを把握する機会となった。



7/19

名古屋・有松地区視察

歴史的な町並みの保存や古民家の活用事例を視察。店舗や展示施設などへの活用手法を学び、町内の歴史的建造物の活用に向けた知見を得た。



9/12–13

ふるさと回帰フェア（東京）

岡谷市・諏訪市と合同で出展し、2日間で 65組99名 の移住相談に対応。移住体験住宅や住まい、仕事などの情報を提供し、現地訪問や相談後の継続的なフォローアップの重要性を確認した。



今後のイベント、活動予定

11/14

しもすわ日記 ～休日編～（町歩きイベント）

観光ではなく「暮らし」の視点から、下諏訪での日常を体験してもらうイベントを企画。初回は町歩きと諏訪湖サイクリングの2コースを設け、参加者同士の情報共有や移住者との交流を実施予定。季節ごとに内容を変えながら、継続的な関係づくりにつなげていく。

その他

- **三角八丁でのスメバオープン**
- **諏訪市と合同での空き家見学会**
- **東京での移住イベント出展　　etc.**



成果・課題・今後の活動について

協力隊２年 **三地澤**

–成果

・地域おこし協力隊募集のチラシや旧矢﨑商店で開催された見学会の際に配布された見どころマップなど、伝わりやすい資料作成に努めました

・SNSも定期的に投稿するように尽力しました

–課題

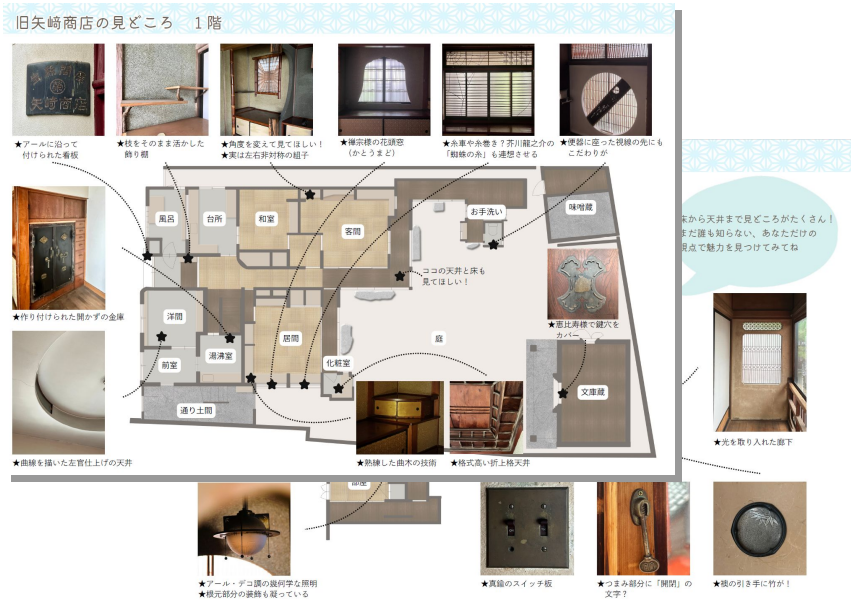
ミーミーセンタースメバに入りづらいという意見が何件か寄せられた事を課題に感じ、窓に3人の似顔絵と名前、性格や移住したきっかけなどを書いた紙を貼りました。観光以外の地域住民の方も立ち止まって見つめている事が度々ございました。今後はさらに、SNSで下諏訪訪駅からのルートを説明する内容の投稿をしたいと考えています。

–今後

残り1年と少し。新しいメンバーへ想いをつなぎ、下諏訪町が今後も変わらず賑やかで、活気あふれる町であり続けるようにしたいです。







成果・課題・今後の活動について

協力隊１年 **福田**

–成果

・町内の行事や地域の人との交流・体験を通じ、地域への理解を深めた。

・体験や学びをSNS等で発信し、地域の魅力を広く伝えた。

・首都圏での移住相談・町のPRに加え、宿泊・移住体験施設の情報ツールを作成した。

・暮らしを体験するイベントを企画し、関係人口の創出や継続的な交流を目指した。

–課題

移住相談を通じて、移住希望者が実際の暮らしを体験するための移住体験施設や、短期滞在できる宿泊施設が不足していると感じた。今後、本格稼働する旧矢﨑商店が、こうした滞在・交流の機会を補う場となることを期待したい。

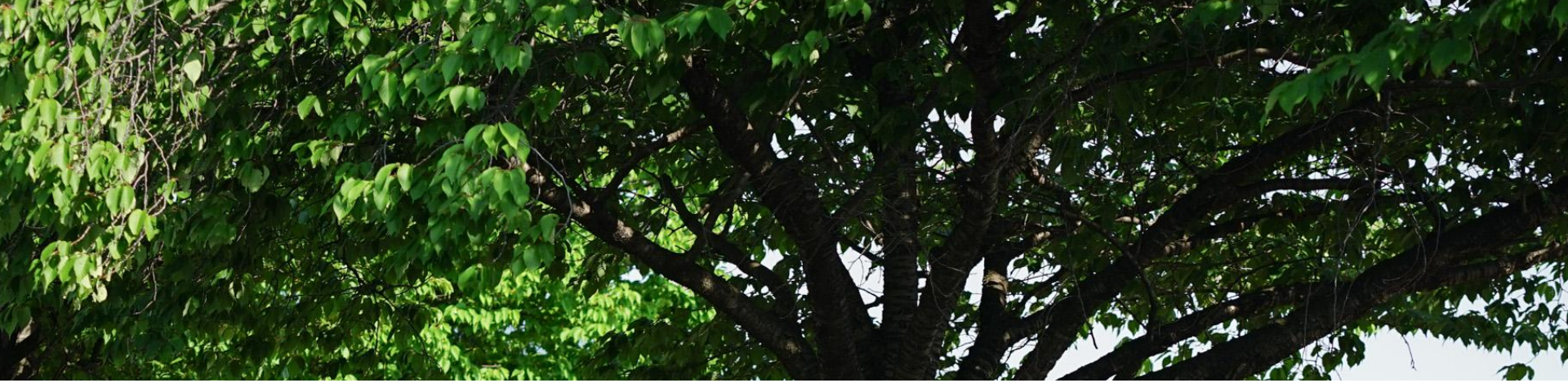
–今後

地域の人との交流から学びを深め、移住希望者とのつながりや、地域に根差した活動を一歩ずつ形にしていきたい。









ご清聴いただきありがとうございました

